

ID	感染症(PT)	出典	概要
1	A型肝炎	ProMED-mail 20180216.5632464	Wyoming Department of Health及びCasper-Natrona County Health Departmentは、米国ワイオミング州Natrona郡において拡大している、2017年10月に始まったA型肝炎のアウトブレイクについて調査を継続している。アウトブレイク発生以来A型肝炎症例14例が確認されており、例年の合計を大幅に上回っている。例年では州全体での平均は年2例であり、最後に同州でA型肝炎が報告されたのは2012年であった。
2	A型肝炎	ProMED-mail 20180223.5646600	オーストラリアのビクトリア州において非常に感染性の高いA型肝炎アウトブレイクが拡大しており、死亡例1例が認められた。同州において過去2カ月間に確定例42例が確認されており、他にも23例を検査中である。保健当局が伝えたところによると、これまでに罹患した人々はすべて男性であり、多くが同性愛者若しくはバイセクシャル、又は注射薬使用者である。
3	A型肝炎	ProMED-mail 20180424.5762837	Kanawha-Charleston Health Department (KCHD)によると、2018年1月以降Kanawha郡及びPutnam郡において20例を超えるA型肝炎が確認されている。KCHDによると、KCHDが米国疾病管理予防センター(CDC)に提出した試料は、カリフォルニア州及びケンタッキー州でのアウトブレイクで同定された遺伝子型に一致する。Utah Public of Healthによると、2017年1月1日以降、A型肝炎ウイルス(HAV)感染確定例243症例を確認している。感染者の多くがホームレス又は違法薬物使用者である。カリフォルニア州及びアリゾナ州を含む全国的なA型肝炎のアウトブレイクと関係のある症例が複数存在する。
4	A型肝炎	ProMED-mail 20180425.5769100	オハイオ州保健省の報告によると、同州及び隣接州のA型肝炎症例数は2018年1月以降急増している。Greene郡公衆衛生局が2018年4月24日に伝えたところによると、現在までに同州内で31例が確認されており、症例数は2015年以降最高となっている。Michigan Department of Health and Human Services及び公衆衛生担当官は、ミシガン州におけるA型肝炎症例が依然として増加していることを確認している。A型肝炎の伝播は、人から人への直接感染による拡大及び違法薬物使用によるものとみられている。注射薬及び非注射薬の使用歴、ホームレス又は仮設住宅への居住並びに投獄経験を有する者は、当該アウトブレイクにおいてよりリスクが高いと考えられている。
5	A型肝炎	ProMED-mail 20180503.5780360	ケンタッキー州においてA型肝炎のアウトブレイクは週を追うごとに悪化している。2018年4月30日の時点で、Louisville市では294症例が確認されており、Clark郡及びFloyd郡をはじめとする近隣の南部Indiana地域では十数例を超える症例が確認されている。
6	A型肝炎	ProMED-mail 20180509.5789924	2018年5月4日にインディアナ州保健省が公表したA型肝炎のアウトブレイクの最新情報によると、確定例は91例、入院率は48%である。同省の報告によると、インディアナ州における一部の症例の遺伝子型は、アリゾナ州、ケンタッキー州、カリフォルニア州、ミシガン州及びユタ州において進行中のアウトブレイク株と一致する。Food Safety Newsは、50州全てにおけるここ数週間のA型肝炎症例数を調査し、少なくとも14州において、アウトブレイク期間中のA型肝炎症例数が、通常の平均年間症例数と比較して増加したことが報告された。現在のアウトブレイクは、ホームレスを通じて急速に拡大している。さらに、違法薬物使用時に針を共有する人々の間においても流行している。カリフォルニア州において、2017年のA型肝炎の症例数は919例であったが、2018年に入って減少している。2017年に報告された症例数は、ホームレス又は薬物乱用者において感染が広範囲に拡大したため、前年以前よりも大幅に増加した。
7	A型肝炎	ProMED-mail 20180527.5820929	Nashville市公衆衛生当局は、2018年5月25日、Nashville市で発生しているA型肝炎アウトブレイクの詳細を公表した。現在進行中のケンタッキー州およびインディアナ州でのアウトブレイクをはじめとして、大規模A型肝炎アウトブレイクは2017年初頭以来他の諸州でも発生しており、主にホームレスや薬物常用者間でヒトからヒトへ拡散している。

ID	感染症(PT)	出典	概要
8	B型肝炎	ProMED-mail 20180223.5645499	2016年4月、CDCは全米届出疾患サーベイランスシステムを通じて、フロリダ州Pasco郡における急性B型肝炎ウイルス(HBV)感染の増加を指摘した。Pasco郡の住民は50万人未満であるが、2016年にはフロリダ州全郡の中で急性HBV感染者数が最も多く(87例)、罹患率も最も高かった(10万例あたり17.28例)。Pasco郡における急性HBV感染者数は、2011年から2016年にかけて、10万例あたり1.5例から17.28例に増加した。2017年2月現在、2011年-2016年に同郡で報告された275例の急性HBV感染症のうち、221例(80%)の患者に関するリスク要因情報が確認され、半数以上(113例、51%)において何らかの薬物使用が報告され、86例(39%)において発症前6ヶ月間における注射薬の使用が報告された。
9	E型肝炎	Annals of internal medicine. 164(2016)851-852	フランスにおける血漿交換によるE型肝炎ウイルス(HEV)伝播に関する報告。血管性腎症を有する48歳女性が献腎移植後28日目で急性の体液性拒絶反応と診断され、1コースのメチルプレドニゾロン、6回の血漿交換、4コースの免疫グロブリン静注により治療された。移植後19カ月目、患者血液においてHEV RNA遺伝子型3fを検出した。また、抗HEV IgG検査陽性及び抗HEV IgM検査陰性であった。移植後5カ月目に採取された凍結血漿サンプルからHEV RNAを検出し、1年以上前から感染していたことを確認した。腎ドナーはHEV RNA検査陰性であり、移植前の患者血液サンプルに関しても検査陰性であった。移植術期間中に使用された18血液製剤全ての保存サンプルにおけるHEV RNAを検査したところ、1つの凍結血漿サンプルから、同患者に感染したものと同一のHEV株を確認した。当該血漿は急性の体液性拒絶反応治療のため、血漿交換の際に使用された。
10	E型肝炎	Emerg Infect Dis. 23(2017)146-147	HEV感染は急性の肝疾患の原因となるが、正常免疫の患者では重症感染症は稀である。生来健康であり、大量輸血を受けたフランスの男性外傷患者におけるHEV感染の症例についての報告である。輸血した血小板のプール検体とドナーの遺伝子型解析にて、HEVが確認された。
11	E型肝炎	Hepatology. 67(2018)446-448.	これまでHEVに関連した肝細胞癌(HCC)症例は報告されていないが、慢性HEV感染症がHCCの病因となる可能性がある。
12	E型肝炎	ProMED-mail 20180227.5653008	日本赤十字社からの報告によると、日本の施設で80代の女性が輸血によりHEVに感染した後2017年11月に死亡し、本件はHEVによる世界で初めての死亡例であると考えられる。2018年1月31日、同社は政府の諮問機関に対し、血液提供者は生のシカ肉を食べた後、同ウイルスに感染した可能性があるとして報告した。ドナーの血液と死亡した女性に同じ種類のウイルスが見つかった。他に感染した血液の受血者はいない。
13	E型肝炎	ProMED-mail 20180417.5751275	2018年4月12日にフランスのパリで開催されたInternational Liver Congressで、ドイツの研究者による2つの研究が発表された。HEV感染が免疫不全者のみならず、免疫不全でないヒトにおいても致死的となり得ることが示唆された。また、免疫抑制剤においては、血液製剤が重要な感染源であることも示唆された。
14	E型肝炎	YAHOO! JAPAN ニュース. https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20180131-00000121-mai-soci	日本赤十字社からの報告によると、日本の施設で80代の女性が輸血によりHEVに感染した後2017年11月に死亡し、本件はHEVによる世界で初めての死亡例であると考えられる。2018年1月31日、同社は政府の諮問機関に対し、血液提供者は生のシカ肉を食べた後、同ウイルスに感染した可能性があるとして報告した。ドナーの血液と死亡した女性に同じ種類のウイルスが見つかった。他に感染した血液の受血者はいない。
15	C型肝炎、HIV感染、B型肝炎、β溶血性レンサ球菌感染	PHE Health Protection Report. 11(2017)43-1	Public Health England、Health Protection Scotland、Public Health Wales及びPublic Health Agency Northern Irelandが共著したpersons who inject drugs(PWID)における感染症に関する年次報告書が発行された。PWIDの5例につき2例がC型肝炎に罹患、100例につき約1例がヒト免疫不全ウイルス(HIV)に感染、200例につき約1例がB型肝炎に罹患している。2014-2016年において、PWIDの36%は前年に注射部位感染の症状を示しており、2011-2013年の28%から増加している。細菌、特にA群レンサ球菌による感染症のアウトブレイクは、PWIDにおいて発生し続けている。

ID	感染症(PT)	出典	概要
16	HIV感染	AABB News. http://www.aabb.org/programs/publications/news/2018/Docs/news1804.pdf	1982年にCDCで輸血によりHIVに感染した初の症例が確認された。以降、カナダ、フランスをはじめ、各国で献血の延期期間について検討されている。
17	HIV感染	CCDR. 43(2017)248-256	2016年にカナダでは計2344例の新規HIV感染症例が報告された。2015年の2100例から11.6%増加した。感染率も2015年の10万例あたり5.8例に対し、2016年は10万例あたり6.4例と増加した。
18	HIV感染	CCDR. 43(2017)272-278	カナダにおけるHIV感染の大部分はVancouver市及びToronto市等の都市部において集中しており、毎年、新規HIV診断の約70%を男性間性交渉者が占めている。さらに、Prairie3州に居住する先住民においては、注射薬の使用及び異性間性交渉に起因する新規HIV診断の劇的な増加が確認された。抗レトロウイルス療法(ART)は、性的パートナーへのHIV感染を予防することが示されている。ハームリダクションプログラムと組み合わせたARTプログラムの拡大により、Vancouver市の都心部における注射薬使用者間HIV感染は大幅に減少し、新規診断は1996年の350例超から2012年には30例未満となった。
19	HIV感染	HPS Weekly Report. 51(2017)430-431	Public Health England、Health Protection Scotland、Public Health Wales及びPublic Health Agency Northern Irelandが共著したPWIDにおける感染症に関する年次報告書が発行された。PWIDのうち5例につき2例がC型肝炎に罹患、100例につき約1例がHIVに感染、200例につき約1例がB型肝炎に罹患している。2014-2016年において、PWIDの36%は前年に注射部位感染の症状を示しており、2011-2013年の28%から増加している。細菌、特にA群レンサ球菌による感染症のアウトブレイクは、PWIDにおいて発生し続けている。
20	HIV感染	PHE Health Protection Report. 11(2017)43-2	Health Protection Scotlandからの2017年9月末の新たな統計によると、2016年のスコットランドでのHIV診断数は256例であることが明らかとなった。
21	HIV感染	ProMED-mail 20180207.5613139	インド北部のBangarmaulにおいて、政府主導のHIV検査キャンプで少なくとも33例がHIV陽性反応を示した。無免許医師がすべての患者に対して同一のシリンジを使用していた。
22	HIV感染	reuters.com. https://www.reuters.com/article/us-india-health-hiv/at-least-33-infected-with-hiv-in-india-after-quack-uses-tainted-syringe-police-idUSKBN1FQ23V	インド北部のBangarmaulにおいて、政府主導のHIV検査キャンプで少なくとも33例がHIV陽性反応を示した。無免許医師がすべての患者に対して同一のシリンジを使用していた。
23	後天性免疫不全症候群	CCDR. 43(2017)257-261	2016年にカナダでは計114例の後天性免疫不全症候群(AIDS)症例が報告された。1979年の全国AIDSサーベイランス開始からの累積症例数は計24179例であった。
24	インフルエンザ	CDC FluView. 2017/10/06	2017年9月18日にメリーランド州におけるインフルエンザA(H3N2)変異型(H3N2v)ウイルス感染のアウトブレイクが州の衛生局に初めて報告された。Maryland public health laboratoryにおいて、6例がインフルエンザA(H3N2v)ウイルスと確定され、残り3例はインフルエンザA(H3N2v)ウイルスに対して推定陽性であった。
25	インフルエンザ	CDC FluView. 2017/11/03	2017年～2018年インフルエンザシーズン第43週の間、新型インフルエンザAウイルスに感染したヒト3例が3つの州から報告された(コロラド州、ネブラスカ州、ミシガン州から各1例)。2例はインフルエンザA(H3N2v)ウイルス感染、1例はインフルエンザA(H1N2)変異型(H1N2v)ウイルス感染であった。
26	インフルエンザ	CDC MMWR. 66(2017)1318-1326	2017年10月1日～11月25日の間に、5つの州からCDCに、新型インフルエンザAウイルスのヒト感染5例が報告された(コロラド州、アイオワ州、ミシガン州、ネブラスカ州、オハイオ州から各1例)。2例はインフルエンザA(H3N2v)ウイルス、2例はインフルエンザA(H1N2v)ウイルス、1例はインフルエンザA(H1N1)変異型ウイルスが原因であった。

ID	感染症(PT)	出典	概要
27	インフルエンザ	CDC MMWR. 67(2018)169-179	2017年10月1日～2018年2月3日の間に、CDCに新型インフルエンザAウイルスのヒト感染6例が報告された。新型インフルエンザAウイルスの6例目のヒト感染は、2017年11月に呼吸器症状を発症した成人患者においてアイオワ州のインフルエンザA(H3N2v)ウイルスによって引き起こされた。
28	インフルエンザ	Outbreak News Today. http://outbreaknewstoday.com/influenza-h3n2v-maryland-case-count-rises-24832/	米国メリーランド州において、農業見本市でのブタへの曝露に関連したブタインフルエンザ(H3N2v)の推定陽性及び確定症例が37例(うち2例は入院)に増加した。患者は症状発現の前の週に、3つの見本市のうちの1つでブタに曝露したことを報告している。また、ブタインフルエンザ(H3N2v)ウイルスは、3つの見本市のうちの2つにいたブタから採取された呼吸器サンプルより同定された。
29	インフルエンザ	ProMED-mail 20171001.5354082	ブタへの曝露に関連したインフルエンザ(H3N2v)ウイルスに伴うメリーランド州の状況の追跡調査において、Maryland Department of Healthは現在推定陽性症例及び確定例を37例(入院2例を含む)としている。メリーランド州の他、デラウェア州(1例)、ノースダコタ州(1例)、オハイオ州(15例)、ペンシルベニア州(1例)、テキサス州(1例)で症例が確認された。
30	インフルエンザ	ウイルス. 67(2017)161-170	米国で、呼吸器症状を呈したブタからC型インフルエンザウイルスに近い塩基配列を有するウイルスが検出され、その後の米国でのブタ、ウシ流行状況の血清調査、系統学的解析等からD型インフルエンザウイルス(D型)と命名された。
31	鳥インフルエンザ	CDC MMWR. 66(2017)928-932	2016年10月～2017年8月の5度目の鳥インフルエンザ流行について、中国、台湾及び香港からヒト感染例が759例(うち死亡例281例)報告され、2013年以降に発生した5回の流行でもっとも多く、感染者も広範囲に広がっている。
32	鳥インフルエンザ	GovHK. http://www.info.gov.hk/gia/general/201802/14/P2018021400759.htm	香港の衛生部衛生保護は、鳥インフルエンザA(H7N4)ウイルスによるヒト感染例が2018年2月10日～14日に確認されたと国家衛生・計画生育委員会から通知を受け、個人衛生、食品衛生及び環境衛生を厳重に保持するよう注意喚起した。本症例は世界で初めてのヒトのインフルエンザA(H7N4)ウイルス感染症例である。患者は江蘇省常州市Liyang在住の68歳女性患者で、2017年12月25日に症状を発症した。女性は治療のため2018年1月1日に入院し、2018年1月22日に退院した。女性は症状の発現前に生きた家禽と接触していた。医学的調査期間中、女性と密接に接触したヒトには症状がみられなかった。
33	鳥インフルエンザ	International Journal of Infectious Diseases. 65 (2017)148-155	2016年10月1日に始まった5度目の鳥インフルエンザ流行について、中国本土において最大波が報告されたが、本調査では、広東省では第2波の期間において最大数であったことがわかった。
34	鳥インフルエンザ	WHOホームページ. http://www.who.int/entity/influenza/vaccines/virus/recommendations/201802_recommendation.pdf?ua=1	2017年9月26日～2018年2月19日期間中、中国において鳥インフルエンザA(H7N9)ウイルス感染のヒト症例3例が報告された。2013年2月以降、計1567例(死亡613例)が報告されている。
35	日本脳炎B型	ProMED-mail 20180116.5561921	香港における輸血による日本脳炎ウイルス(JEV)伝播の報告。無症候性ドナーが提供するJEV陽性血液および血小板輸血を受けた患者2例が香港においてJEVに感染した。初発患者1例(52歳男性)は進行性の慢性閉塞性肺疾患を有しており、両肺移植術後、3回の濃厚赤血球輸血を受けた。当該患者は移植の約2カ月後、一過性の斑点状丘疹および発熱を呈した。調査担当者は感染経路を献血者までたどり、検査の結果輸血感染によるJEV感染を確認した。同担当者は、血小板輸血によりJEVに感染した2例目の無症候性患者を特定した。
36	ウイルス性脳炎	HPS Weekly Report. 52(2018)59-62	2018年3月7日、ドイツはボルナ病ウイルス(BoDV)-1感染に起因するヒトの急性脳炎又は脳症4例を報告した。うち3例は同一のドナーからの固形臓器移植者のクラスターに属しており、うち2例は死亡した。ドイツでBoDV-1による脳炎の追加症例1例が判明し、当該症例も死亡した。臓器移植を介したBoDV-1感染の可能性が報告されたのは本件が初めてである。シロハラジネズミがBoDV-1の病原体保有動物とされている。

ID	感染症(PT)	出典	概要
37	デング熱	Transfus Apher Sci. 56(2017)151-153	デング熱ウイルスは輸血によって感染する。冠動脈バイパス手術を受けた2例の患者が同じドナーからの血液成分の輸血でデング熱に感染したと考えられる事例の報告である。デング熱は、依然として特に流行地における血液供給の脅威である。
38	デング熱	Public Health Agency of Canada ホームページ. https://travel.gc.ca/travelling/health-safety/travel-health-notice/181	WHOは、2017年のベトナムにおける18万例を超えるデング熱症例を報告した。症例の大多数が同国南部で報告された。症例数の増加が報告されている。
39	灰白髄炎	WHOホームページ. http://www.who.int/mediacentre/news/statements/2018/16th-ih-r-polio/en/en/	2018年2月7日、ポリオウイルスの国際的拡大に関連し、International Health Regulation Emergency Committeeは野生型ポリオウイルス(WPV1)と循環型ワクチン由来ポリオウイルス(cVDPV)のデータをレビューした。
40	灰白髄炎	Wkly Epidemiol Rec. 92(2017)521-536	アフガニスタンにおいて、2016年にWPV1感染症例は13例、伝播型ワクチン由来ポリオウイルス(cVDPV)感染症例は0例、2017年にWPV1感染症例は6例、cVDPV感染症例は0例報告された。また、パキスタンにおいて、2016年にWPV1感染症例は20例、cVDPV感染症例は1例、2017年にWPV1感染症例は3例、cVDPV感染症例は0例報告された。
41	灰白髄炎	Wkly Epidemiol Rec. 92(2017)661-680	2016年1月から2017年6月におけるワクチン由来のポリオの状況についての報告。cVDPVは、ラオスでcVDPV1の確定例1例、ナイジェリア及びパキスタンでcVDPV2型2例が報告された。免疫不全関連ワクチン由来ポリオは、11カ国・地域で報告された(アルゼンチン、エジプト、インド、イラン、イラク、イスラエル、ナイジェリア、パキスタン、チュニジア、英国、ヨルダン川西岸地区およびガザ地区)。不明確なワクチン由来ポリオウイルス(VDPV)は、11カ国・地域で報告された(アフガニスタン、中国、コンゴ民主共和国、エジプト、インド、モザンビーク、ナイジェリア、パキスタン、ロシア、ソマリア、イエメン)。
42	ロタウイルス胃腸炎	J Vet Med Sci. 79(2017)1664-1666	二重特異性ヌクレアーゼを有する次世代シーケンサーを用いて、日本で初めてブタにおいてオットセイの糞便に関連する環状ssDNAウイルス(EFfeCT)が発見された。ウイルスの完全ゲノムは、ニュージーランドのオットセイからの環状ssDNAウイルス(FSfaCV)と約92%の類似性を示した。さらに日本の85頭のブタにおいてssDNAウイルスの有病率を調査し、65頭(76%)が陽性であった。
43	重症熱性血小板減少症候群	ProMED-mail 20171012.5376692	2017年10月10日に自治体により、徳島県の男性(40代)がイヌ1頭との接触を介して重症熱性血小板減少症候群(SFTS)に感染したと報告された。自治体保健当局によると、本症例はイヌを介してSFTSに感染した初めての症例である。
44	ウイルス感染	European Centre for Disease Prevention and Control Rapid risk assessment. 2018/03/26	2018年3月7日、ドイツはBoDV-1感染に起因するヒトの急性脳炎又は脳症4例を報告した。これらのうち3例は同一のドナーからの固形臓器移植者のクラスターに属しており、そのうち2例は死亡した。ドイツでBoDV-1による脳炎の追加症例1例が判明し、この症例も死亡した。臓器移植を介したBoDV-1感染の可能性が報告されたのは本件が初めてである。シロハラジネズミがBoDV-1の病原体保有動物とされている。
45	ウイルス感染	ProMED-mail 20180326.5712092	中国の広東省と四川省において、ヒトペギウイルス2型(HPgV-2)感染が確認された。また、特に、PWIDにおけるHCVとHIV-1重複感染者が、HPgV-2感染リスクの高い集団であることを特定した。
46	ウイルス感染	ProMED-mail 20180328.5714656	2018年3月7日、BoDV-1感染に起因するヒトの急性脳炎又は脳症4例を報告した。これらのうち3例は同一のドナーからの固形臓器移植者のクラスターに属しており、そのうち2例は死亡した。ドイツでBoDV-1による脳炎の追加症例1例が判明し、この症例も死亡した。臓器移植を介したBoDV-1感染の可能性が報告されたのは本件が初めてである。シロハラジネズミがBoDV-1の病原体保有動物とされている。

ID	感染症(PT)	出典	概要
47	クロイツフェルト・ヤコブ病	MMWR Morb Mortal Wkly Rep. 67(2018)274-278.	1975年から2017年まで死体硬膜移植後クロイツフェルト・ヤコブ病のサーベイランスにおいて、2008年から2016年に新たな22症例が確認され、うち3例は潜伏期間が30年であった。
48	プリオン病	Emerg Infect Dis. 24(2018)1029-1036	アルジェリアのヒトコブラクダにおいてプリオン病を認めた。プリオン病の症候は、2015～2016年にOuarglaと畜場でと畜用に搬入されたヒトコブラクダの3.1%で認められた。臨床症状のあった3頭の脳組織において特徴的な神経変性及び疾病特異的なプリオンたん白質(PrP ^{Sc})を検出したため診断した。リンパ組織でのプリオン検出は当該疾病の感染性の特徴を示唆している。PrP ^{Sc} の生化学的特性分析では牛海綿状脳症やスクレイピーとの相違がみられた。
49	レンサ球菌感染	Emerg Infect Dis. 24(2018)391-392	マダガスカルにおいて、 <i>Streptococcus suis</i> への感染が2例発現した。1例目はと殺場で働き、2例目は調理師として働いており、いずれも頻りに豚肉に曝露していた。両者ともアンピリシリン又はセフトリアキソンによる治療で回復したが、軽度の聴力障害が残った。2例目から分離された菌株について調査した結果、血清型2及び新規配列型834であることが確認された。
50	炭疽	ProMED-mail 20180302.5662041	オーストラリアビクトリア州Swan Hillの農場において、ヒツジ1頭が炭疽菌感染により死亡した。
51	結核	WHOホームページ. http://www.who.int/mediacentre/news/releases/2017/political-commitment-tb/en/	WHOが発表したGlobal TB Report 2017によると、2016年、世界の新規結核症例は推計1040万例で、うち10%はHIV感染者であった。全体の64%を7カ国・地域が占め、インド、インドネシア、中国、フィリピン、パキスタン、ナイジェリア、南アフリカの順であった。推計170万例が結核で死亡し、うち約40万例はHIV重感染症例であった。これは、2015年と比較して4%の減少である。
52	ブルセラ症	CDC ホームページ. https://www.cdc.gov/media/releases/2017/p0915-raw-milk-brucella.html	米国テキサス州 Paradiseにある酪農場の生乳からブルセラ属菌RB51株が検出された。また、テキサス州住民1例におけるブルセラ症に当該酪農場の生乳が関連していることが明らかとなった。CDCは、2017年6月1日から8月7日に当該酪農場の生乳又は生乳製品を摂取した人は抗生物質治療を受けべきであると勧告をしている。
53	コリネバクテリウム感染	JMM Case Rep. 4(2017)e005106.	北九州において <i>Corynebacterium ulcerans</i> 感染による国内初の死亡例が報告された。
54	真菌感染	Emerg Infect Dis. 24(2018) 758-761	北米において、新規病原性二形性真菌 <i>Emergomyces canadensis</i> による初めてのヒト感染例4例が確認された。
55	旋毛虫症	Viet Nam News. http://vietnamnews.vn/society/420835/doctors-warn-against-consumption-of-infected-pork.html#zEkSaDbQ1o4paiHs.97	ベトナムLai Chau省において、病気のブタの生血や生肉を使った料理を食べた男性5人が旋毛虫に感染した。1例は死亡し、1例は呼吸不全を生じ重体であった。
56	線虫症	Am J Trop Med Hyg. 98(2018) 1171-1174	米国において、ウシ眼寄生虫である <i>Thelazia gulosa</i> による初めてのヒト感染例1例が報告された。